

(記入例)
特定施設設置届出書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

(宛先)長野市上下水道事業管理者

申請者 住 所 東京都〇〇区〇〇1丁目23番地
電話 番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
氏名又は名称 〇〇〇石油株式会社
及び法人に あつてはその 代表取締役 〇〇 一郎
代表者の氏名

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇石油株式会社 長野給油所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	長野市〇〇2丁目3番地	※受理年月日	
特定施設の種類	71 自動式車両洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。	※備 考	
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①	
特定施設番号及び名称	71 自動式車両洗浄施設	
型 式	〇〇〇精工(株) □□□洗車機 SH-54	
構 造	別図(5)のとおり	
主 要 寸 法	別図(5)のとおり	
能 力	洗車時間 1台/180秒 30L/min	
配 置	別図(2)のとおり	
設 置 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		①			
特定施設番号及び名称		71 自動式車両洗浄施設			
設置場所		別図(2)のとおり			
操業の系統		別図(6)のとおり			
使用時間間隔		9時から18時まで			
1日当たりの使用時間		1.2時間/日			
使用の季節的変動		夏季繁忙期			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		〇〇〇社製 〇〇クリーン(0.1L/日) 洗剤を希釈して使用 洗車台数 (5~10台/日)			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	n-ヘキサン抽出物質	6.0	7.0		
汚水等の量(m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		1.1	1.7		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	油水分離槽 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/>								
処理施設の設置場所	別図(4)のとおり								
設置年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日		年	月	日		
工事着手予定年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日		年	月	日		
工事完成予定年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日		年	月	日		
使用開始予定年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日		年	月	日		
種類及び型式	〇〇社製 4槽式・OT-4								
構造	別図(8)のとおり								
主要寸法	別図(8)のとおり								
能力	容量 380 L × 2								
処理の方法	自然沈殿分離式								
処理の系統	別図(7)のとおり								
集水及び導水の方法	溝および集水管								
使用時間間隔	9時から18時まで 連続								
1日当たりの使用時間	9 時間/日								
使用の季節変動	夏季繁忙期								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	オイルマット (10~16枚/月)								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	n-ヘキサン抽出物質	6.0	2.0	7.0	3.0				
	量 (m ³ /日)	1.1		1.7					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥〇〇kg/月 産業廃棄物処理委託								
排出水の排出方法	公共用水域①、②								
その他参考となるべき事項	残渣の回収業者 「株式会社〇〇〇〇」 TEL026-〇〇〇-〇〇〇〇								

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		下水道No.1		公共用水域No.1	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		n-ヘキサン抽出物質			2.0
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0.5	1.0	1.1	1.7
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>ア 事業場全体の配置 イ 給水系路 ウ 排出水の排出経路 (特定排水、間接冷却水を色分してください。) エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所</p> <p>ア～カまでを記した図面を添付してください。</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>自動式車両洗浄施設</p>	<p>上水道</p>	<p>1.0</p>
	<p>事務所・トイレ系</p>	<p>上水道</p>	<p>0.5</p>
	<p>マットクリーナー・その他</p>	<p>上水道</p>	<p>0.1</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

図-1 付近の見取り図 (記入例)



図-2 特定施設等主要機器の配置図(記入例)

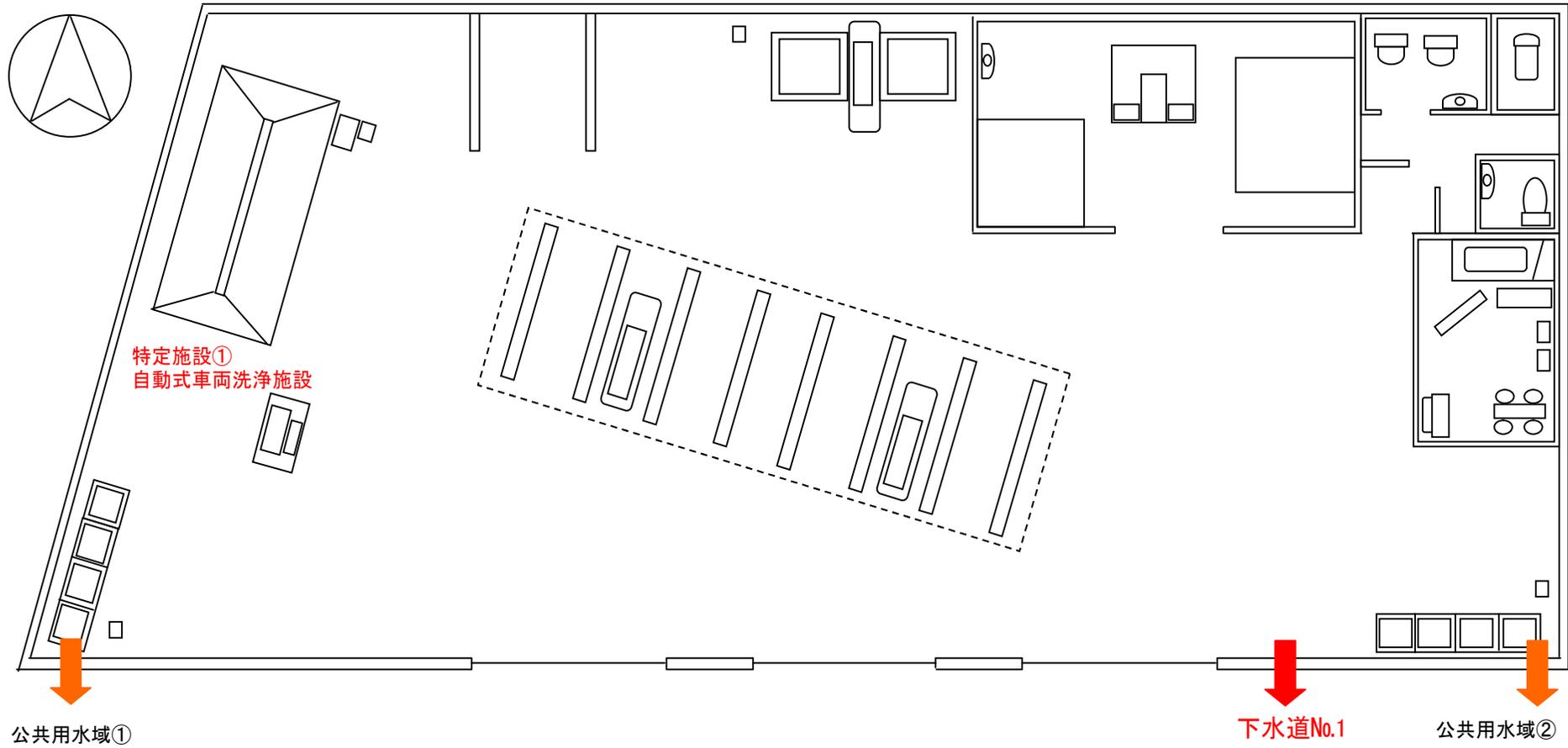


図-4 排水系統図(記入例)

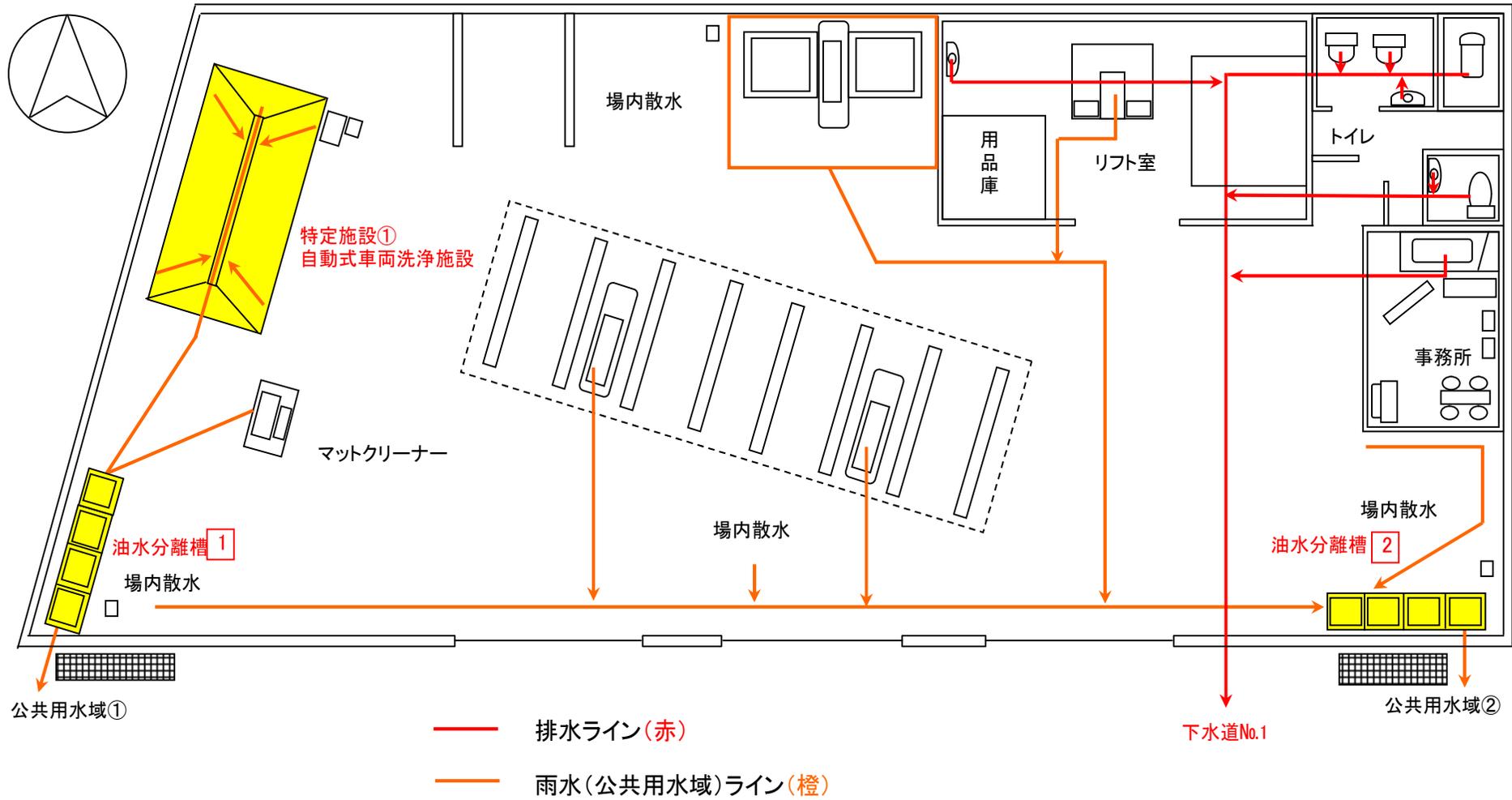
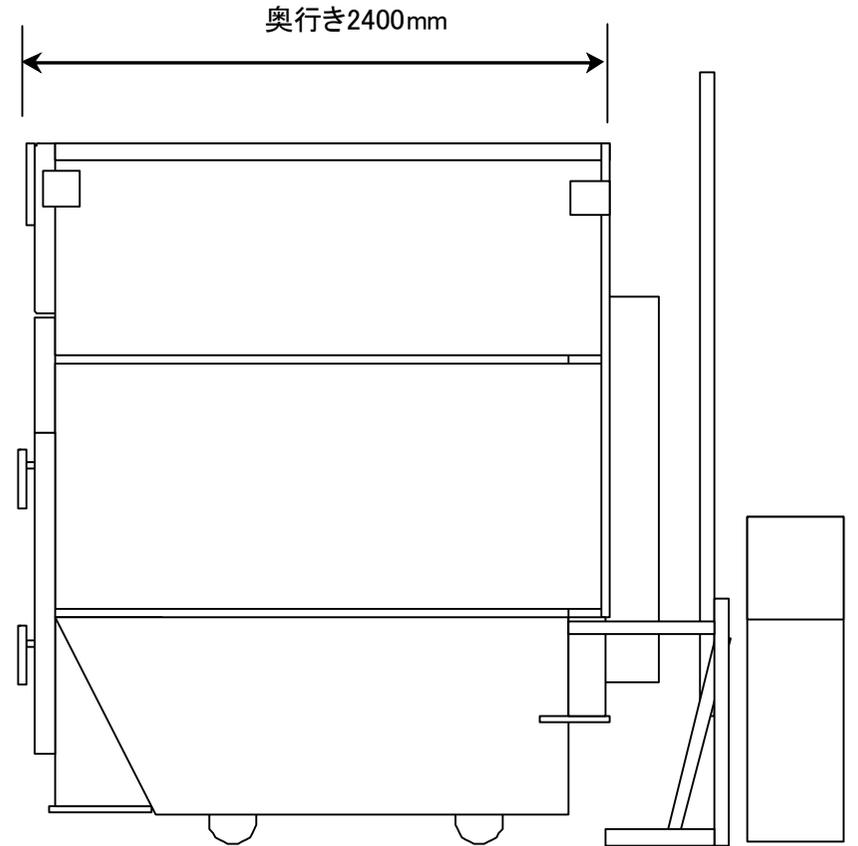
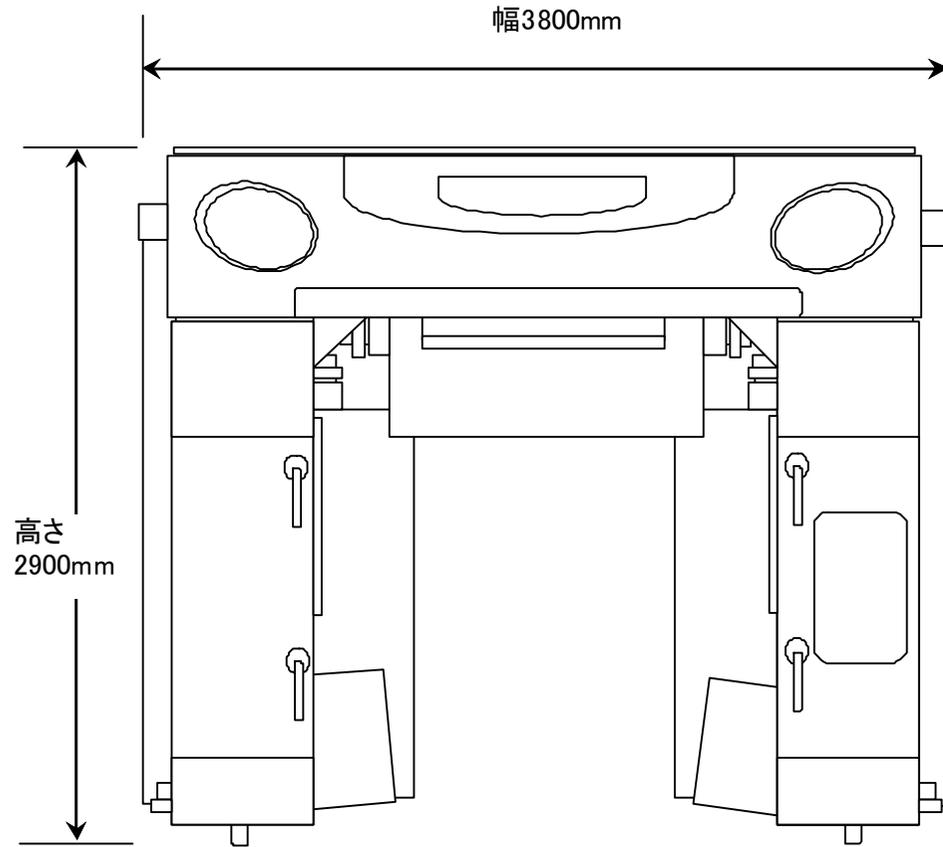


図-5 特定施設の構造図(記入例)



特定施設①

〇〇〇精工(株)
□□□洗車機
SH-54

図-6 操業系統図(記入例)

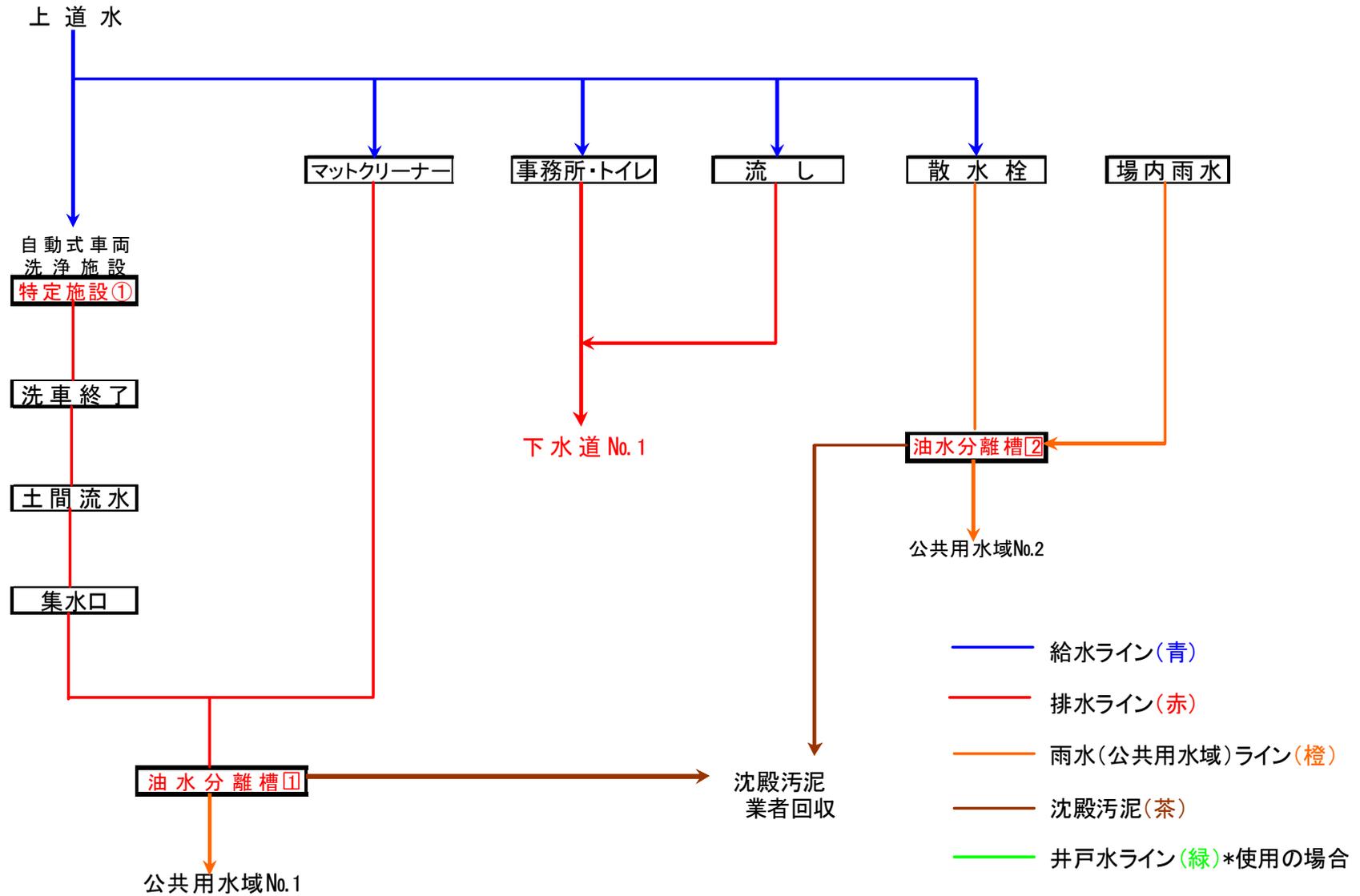
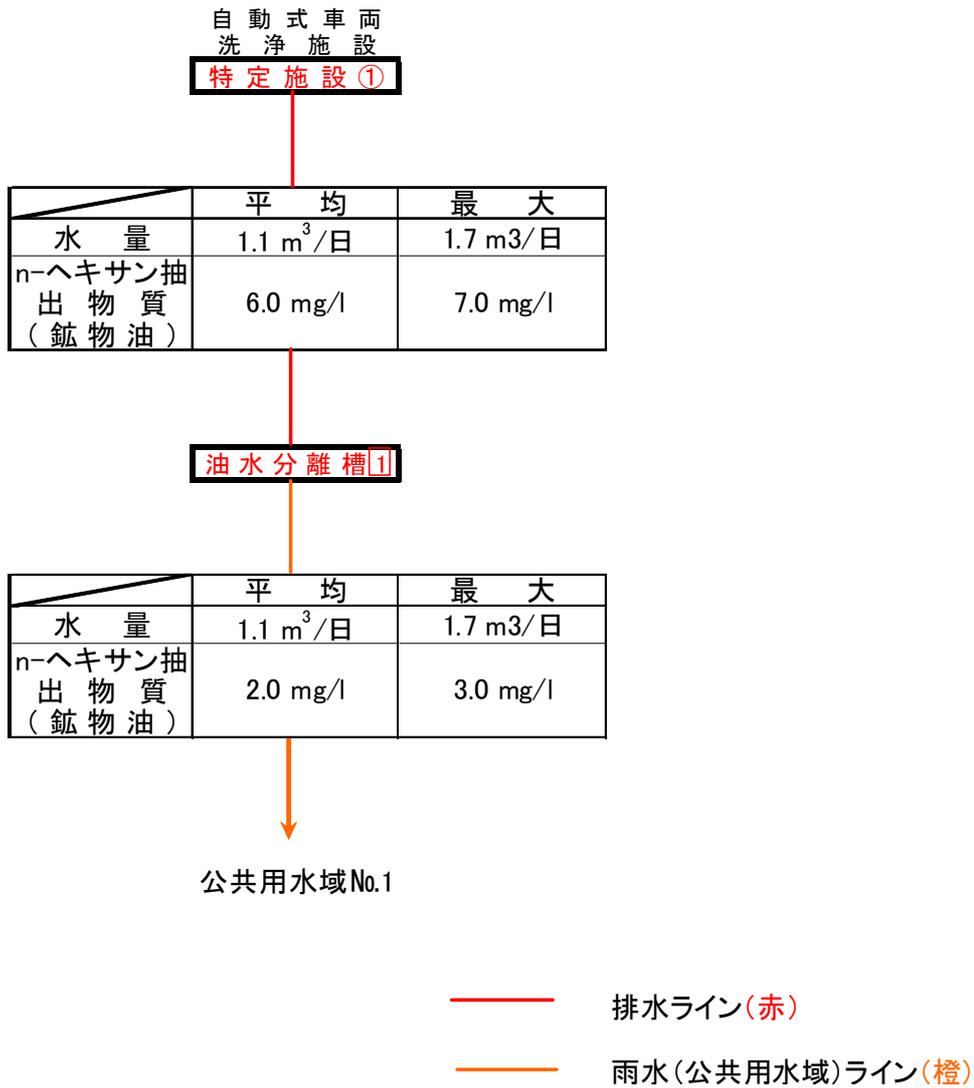
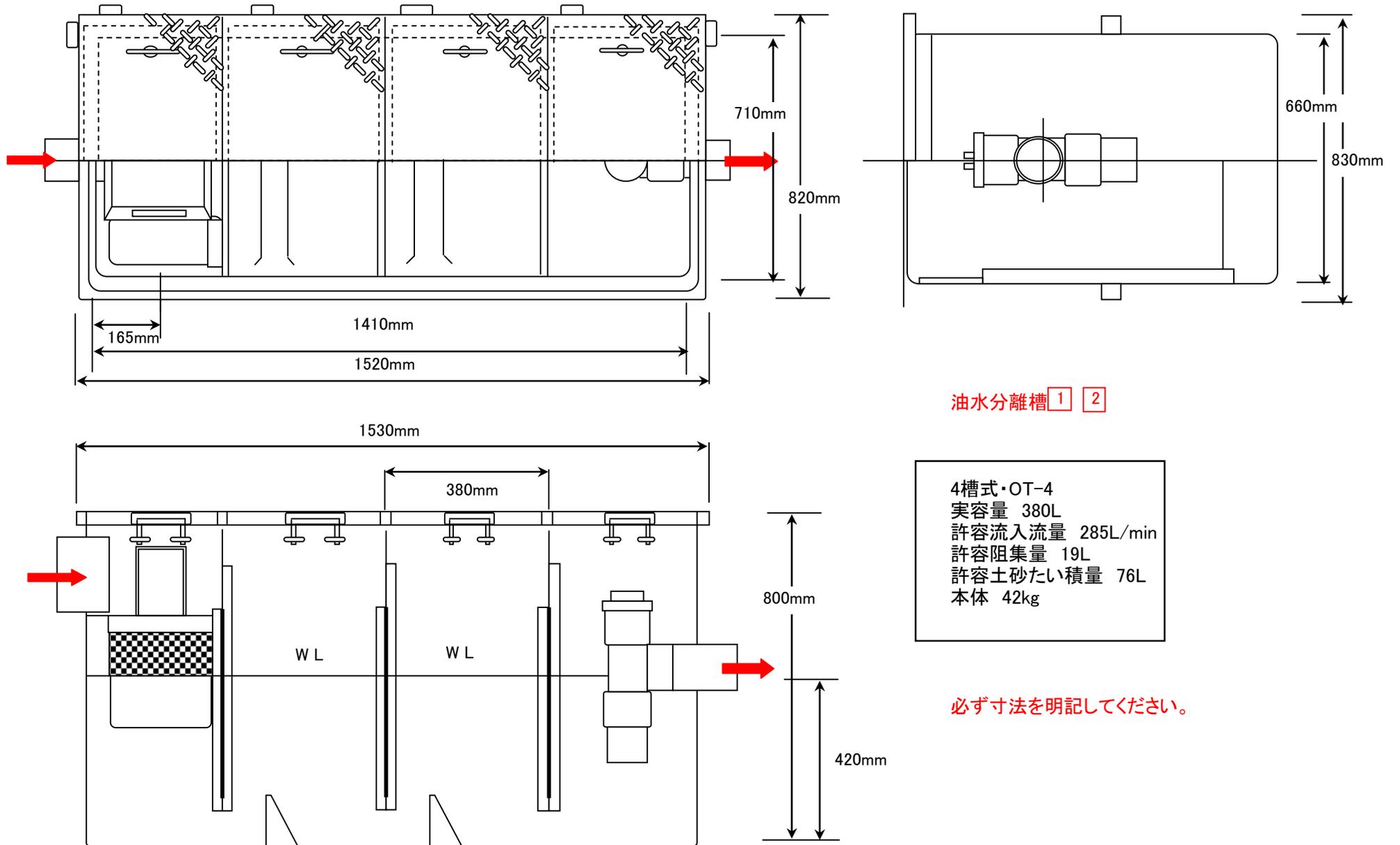


図-7 汚水処理系統図(記入例)



記入例

図-8 汚水処理施設の構造図(記入例)



油水分離槽容量計算書(記入例)

*複数油水分離槽を所有している場合は、自動式車両洗浄施設用として使用している油水分離槽について、記入してください。

$$\text{容量(L)} = \frac{\text{1日あたりの使用水量(L)} \times 1.5 \sim 2.0\text{倍} \times \text{滞留時間(2時間)}}{\text{営業時間}}$$

長野市上下水道局排水設備工事施工基準による

① 車1台あたりの使用水量

車1台あたり 30L / min

洗車時間 3min / 台

$$\underline{30\text{L} \times 3\text{min} = 90\text{L}}$$

② 1日あたりの使用水量

5~10台/日

$$\underline{90\text{L} \times 10\text{台} = 900\text{L}}$$

③ 営業時間

9:00 ~ 19:00

10時間

$$\text{容量} = \frac{900\text{L} \times 2.0 \times 2\text{時間}}{10\text{時間}} = 360\text{L}$$

今回、設置の油水分離槽(OT-4)の実容量は、380Lであるため

$$360\text{L} < 380\text{L}$$

上記の計算より、有効容量を満たしています。